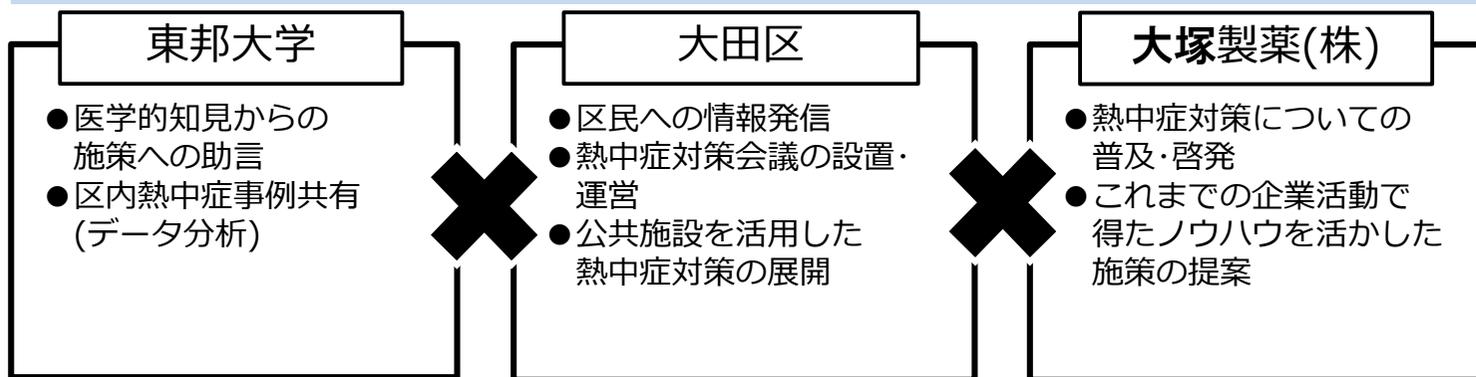


7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

事例3. 東京都大田区(1) 産官学(3者連携)による“大田区熱中症対策コンソーシアム”

- 熱中症から区民の命を守ることを目的として、**大田区**、**学校法人東邦大学**、**大塚製薬株式会社**(大田区と包括協定を締結している)の3者をコアとし、様々な団体に参画いただき、熱中症対策をオールおたで推進していく取組み「**大田区熱中症対策コンソーシアム**」を令和6年6月1日に設置。



コンソーシアム参画団体 (令和6年9月24日時点)

22団体 ※50音順

- ・ あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- ・ 株式会社イトーヨーカドー 大森店
- ・ 株式会社NTTデータ
- ・ 大塚製薬株式会社
- ・ 花王グループカスタマーマーケティング株式会社
- ・ 株式会社きらぼし銀行
- ・ 京急開発株式会社
- ・ 京浜急行電鉄株式会社
- ・ さわやか信用金庫
- ・ 城南信用金庫
- ・ 株式会社セブン-イレブン・ジャパン
- ・ 第一生命保険株式会社
- ・ テレキューブ株式会社
- ・ 東急株式会社
- ・ 学校法人東邦大学
- ・ 日本生命保険相互会社
- ・ 株式会社長谷工コーポレーション
- ・ パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社
- ・ マチノマ大森
- ・ 明治安田生命保険相互会社
- ・ リコー株式会社
- ・ リコージャパン株式会社

大田区熱中症対策会議

- 第1回 令和6年6月25日(火)
- 第2回 令和6年11月21日(木)

- **大田区熱中症対策コンソーシアム**に参画している団体で構成される会議を開催。
今年度の熱中症対策の取組や振り返りなどを共有し、来年度の熱中症対策に向けて、オールおたで取り組んでいくことを確認。

会議の様子



■ 苦労した点

行政の意思決定に要する時間が民間よりも遅くスピード感をもった動きがとりにくい。

■ 工夫した点

継続した取組みとしていくため、企業にはビジネスを通じて取り組んでもらっている。

大田区ホームページ
<https://www.city.ota.tokyo.jp/kuseijoho/kouminrenkei/announcement/otakunettyuusoutaisakukonso.html>

7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

事例3. 東京都大田区(2) 産官学(3者連携)による“大田区熱中症対策コンソーシアム”

大田区熱中症対策コンソーシアムの取組みとして、区民に熱中症に関する正しい知識を蓄えてもらうことを狙いとして、医学的な専門知識を有する東邦大学監修のもと、「啓発用ポスター」、「熱中症対策動画」を作成するほか、対象を絞った「熱中症対策講座」を実施することにより、熱中症に強い大田区をめざす。

啓発用ポスター

- ▶ 「あつい夏には知恵が効く」を共通のフレーズとして、熱中症に関するミニ知識を入れたポスターを作成(全6種類)



熱中症対策動画・講座

- ▶ 視覚的な情報で、区民の熱中症に関する興味・関心を高めるため、熱中症対策動画を作成。

区民に向けた啓発



- ▶ 専門医による正しい知識を伝えることを目的として本多満先生(東邦大学医療センター大森病院)による「この夏注意すべき暑さ ~救急医からみた熱中症対策~」を動画として区のYouTubeや東邦大学HPにて公開 <https://www.youtube.com/watch?v=yvnU3BRDrJ8>

- ▶ 大田区と東邦大学が連携して「大田区官学連携人材育成講座」を開催。対象者別に全4回の講座を実施。

働く方々に 対象を絞って啓発



高齢者を支える方々(福祉・介護従事者)に 対象を絞って啓発



ミニ知識(全6種類)

- No.1: 「慣れない体は、キケンです。」
- No.2: 「ただしく、早く、浸透してほしい。それは、知識と水分です。」
- No.3: 「家のなか、温室になってませんか？」
- No.4: 「その頭痛、だるさは黄色信号」
- No.5: 「食事と睡眠の暑いカンケイ」
- No.6: 「わたしには、わたしの こどもには、こどもの高齢者には、高齢者の」

7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

事例3. 東京都大田区(3) 産官学(3者連携)による“大田区熱中症対策コンソーシアム”

大田区熱中症対策コンソーシアムに参画している民間企業等による取組事例



マチノマ大森

熱中症予防に関する正しい知識をひとりでも多くの方に知っていただくことを目的に生活の場である商業施設から情報を発信した。

- ◀ マチノマ大森内
デジタルサイネージによる啓発



京急開発株式会社

8月上旬に、BIGFUN平和島夏のイベント「SUMMER FESTA in Heiwajima」を開催。

横浜銀行アイスアリーナで本来廃棄される氷を有効活用した「氷のひろば」を実施し、来場客の顔や身体を冷やすことで、熱中症対策を行った。

- ◀ 「氷のひろば」のこども用プール



明治安田生命保険相互会社

大田区立おおもり園にて、熱中症についての説明とチラシ・うちわを配布した。

その他、健康チェックイベントや営業活動内で熱中症対策の普及活動を実施した。

- ◀ おおもり園内
チラシを用いての説明



日本生命保険相互会社

ベジチェックイベントを開催した際に、熱中症対策についての案内を併せて実施。さらに、健康分野に興味がある企業に向けて熱中症対策について説明を行った。

- ◀ 訪問先企業にて
熱中症対策について説明している様子



株式会社きらぼし銀行

大田区内の支店では、入口や目の付きやすい場所にチラシを掲示している。行員が熱中症対策に関する講座を受講し、各支店での接客や営業活動時にお声がけやチラシの配布を行った。

- ◀ きらぼし銀行 大森支店
チラシによる啓発



東急株式会社

駅を利用する方々に、熱中症予防を呼びかけることを目的に東急池上線・多摩川線内の計7駅でチラシを配架した。

(配架駅:蒲田、蓮沼、千鳥町、武蔵新田、下丸子、鵜の木、沼部)

- ◀ 蒲田駅(東急線)
熱中症対策チラシを配架



テレキューブ株式会社

断熱効果のある発泡スチロールを主材料として構成された「テレキャビン」(休憩ブース)をBIGFUN平和島の駐車場に設置、外部で作業をするスタッフの方々に猛暑の時に熱中症対策の休憩室として業務の間に一時的に「涼」を取る場所として一定期間ご利用いただいた。
※ブース内には、専用エアコンを設置している。

- ◀ BIG FUN平和島 クーリングシェルターを設置



株式会社長谷工コーポレーション

マンションの建設現場(区内3か所)における仮囲いにて啓発用のポスターを掲示した。区民に啓発するとともに、建設現場で働く方々に向けて、熱中症対策に関する情報発信を行った。

- ◀ 仲池上建設現場
熱中症対策ポスターを掲示